

教科名	国語	科目	国語	授業時間	3時間
-----	----	----	----	------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新編 新しい国語 3」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習 3」（東京書籍） : 「国語の学習 3」（明治図書）
 : 「国語便覧 千葉県版」（浜島書店） : 「練成テキスト 中3国語」（育伸社）
 : 「中学3年間の国語 10分間で総復習」（受験研究社）

2. 授業の目標および内容

「読む」という言語活動を総合的に行い、周辺知識を蓄えながら、主体的な言語の担い手として、より豊かな人格形成を目指します。また、古典文学作品に触れることで、日本の言語文化に対する理解を深めます。その前提として、読解力の基礎となる語彙力や教養を養成するために、各種の小テストを行います。

3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

※定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

4. 課題・補習について

夏期休業中の課題は、問題集や読書感想文の提出などです。

5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、授業態度、提出物などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	①「わたしが一番きれいだったとき」「生命は」	○口語詩の読み取りを通して、自分で問を立て、解答する力を育む。また、戦争教材に触れ、平和への思いを育む。	*現代社会で使われる語彙に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
	①「世界への入口」	○言葉が世界の入口となることを、随筆の読解を通して確認する。また、「台湾」について調べること、国際社会に目を向ける態度を養う。	
	①「俳句の読み方、味わい方」	○俳句に詠まれた情景や心情を想像し、俳句を音読して読み味わう。季語や切れ字など俳句の規則を理解する。	
	②「形」	○作品に表れているものの見方や考え方について	

	②「絶滅の意味」	<p>て考える。作品の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。</p> <p>○文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。考えを広げたり深めたりして、人間、自然などについて、自分の意見を持つ。</p>	
2	<p>①「百科事典少女」</p> <p>①対比と象徴</p> <p>①「受け取る『利他』」</p> <p>②おくの細道</p> <p>②万葉・古今・新古今</p> <p>②論語</p>	<p>○登場人物のものの見方や考え方について考え、作品の展開や表現の工夫に着目し、批評する。</p> <p>○対比と象徴について理解する。</p> <p>○文章を批判的に読み、文章に表れているものの見方や考え方について考える。文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて、自分の意見を持つ。</p> <p>○当時の状況や作者の心情に注意して作品を読み、古典世界に親しむ。構成や表現の特徴を捉え、評価する。</p> <p>○和歌が詠まれた状況や作者の心情を想像してろうどくし、和歌の世界に親しむ。和歌の意味や使われている技法を捉え、評価する。</p> <p>○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用し、自分の考えを分かりやすくまとめる。古典の言葉を読んで、人間、社会について考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>*慣用句・四字熟語、基本的な古語に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。</p>
3	<p>①故郷</p> <p>①いつものように新聞が届いた</p>	<p>○作品の展開の仕方を捉え、登場人物のものの見方や考え方について考えながら、作品を読み含める。社会の中で生きる人間について、自分の考えを持つ。</p> <p>○情報やメディアの意義について考えを深める。</p>	<p>*語彙に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。</p>